

## 第 1 回教育文化専門委員会での主な意見

### （学校教育）

- 発達障害児童の支援方法については、支援員の手厚い配置や研修体制などについても広く考えていく必要があり、限られた予算の中でどのようにやっていくかというのは大きな課題
- 特別支援コーディネーター研修に参加した先生方が、学校の中で一般の教員に広めていくということが難しいので、これに対する取り組みや支え方がとても大事である。

### （社会教育）

- 子ども達の自然体験が年々減少している。市内の施設で一番活用されているのは県の金峰少年自然の家ではないか。県と市との連携を。
- 中央公民館とコミュニティセンターは、例えば第三日曜日は全て休館日であるなど、考え方が統合していない。地域のコミュニティセンターはその特徴は出しながら、中央公民館は全体をリードすることで、生涯学習は成り立つものとする。

### （学校統合再編）

- 学校の統廃合は、何年度に統合すると決めてやるのではなく、住民の意見を汲みながら進めていくのが、しこりを残さない大事なステップだと感じている。

### （若者・スポーツ）

- 雪国出身なのに一度もスキーをしたことがないという子どももいるので、6小のようにどの子どもも体験できるチャンスがあればよい。